年間授業計画

高等学校 令和8年度（１学年用） 教科　芸術　科目 美術Ⅰ

教　科：芸術　科　目：美術Ⅰ　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　A　組～　F　組

使用教科書：（ 美術Ⅰ ）

教科　芸術・美術　の目標：

【知識及び技能】基礎的な表現方法や用具などの特性、基本的な表現方法などについて理解する。

【思考力、判断力、表現力等】表現のポイントを押さえ、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する。造形的な良さや美しさを感じ取り、見方や感じ方を広げる。

【学びに向かう力、人間性等】美術の創造活動の喜びを味わい、自ら表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。

科目　美術Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎的な表現方法や用具などの特性、基本的な表現方法などについて理解する。	表現のポイントを押さえ、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する。造形的な良さや美しさを感じ取り、見方や感じ方を広げる。	美術の創造活動の喜びを味わい、自ら表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A　静物画 【知識及び技能】静物画の基礎的な表現方法や用具（鉛筆，ねり消し、水彩絵の具など）などの特性、基本的な描き方などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】静物画の表現のポイントを押さえ、対象を観察し、描写する。 【学びに向かう力、人間性等】美術の創造活動の喜びを味わい、自ら表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。静物画のポイントを表現できるよう創意	・指導事項：静物画のポイントを理解、考察し、集中や意欲の持続を促す。 ・教材：教科書、参考作品	○			○	・静物画について教科書の内容を理解し、具体的な方法論について知識がある。 ・静物画のポイントを理解、考察でき、対象をよく観察し描写できる。また造形的な良さや美しさを感じ取り、表現の意図と工夫について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 ・静物画のポイントを表現できるよう、あらゆる角度から対象をとらえ、自ら創意工夫し提出期限内に完成提出すR。	○	○	○	16
1学期	B 木彫工芸　なべ敷き 【知識及び技能】木彫工芸の基礎的な表現方法や用具の特性、基本的な彫り方などについて理解する。彫りの技術の生かし方などを身につけ、意図に応じて工夫して表す。 【思考力、判断力、表現力等】木彫工芸の表現のポイントを押さえ、創造的な表現を工夫し、心豊かに表現する。造形的な良さや美しさを感じ取り、自らデザイン性豊かに表現の意図や彫りの技術の工夫など考えるなど、見方や感じ方を広げる。	・指導事項：木彫工芸の技術やポイントを理解し、集中や意欲の持続を促す。彫りの技術の習得する。 ・教材：教科書、参考作品、タブレット	○	○		○	・木彫工芸について教科書の内容を理解し、基本的な方法論の知識がある。さらに彫りの技術を生かし、意図に応じた表現の工夫ができる。 ・木彫工芸の表現のポイントを理解し、考察したり表現することができ、彫りの技術の習得もできている。また造形的な良さや美しさを感じ取り、表現の意図と工夫について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 ・意図に応じて工夫したり表したりする表現の学習活動に自ら取り組もうとしている。また表現の意図と工夫について考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞活動に取り組もうとしている。	○	○	○	16
2学期	C 油絵【模写】 【知識及び技能】油絵の基礎的な表現方法や用具の特性、基本的な描き方などについて理解する。油絵の具の生かし方などを身につけ、意図に応じて工夫して表す。 【思考力、判断力、表現力等】油絵の表現のポイントを押さえ、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する。造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の意図と工夫などについて考えるなど、見方や感じ方を広げる。 【学びに向かう力、人間性等】美術の創造活動の喜びを味わい、自	・指導事項：油絵の技術やポイントを理解し、集中や意欲の持続を促し、完成を目指す。油彩画の技術の習得する。 ・教材：教科書、参考作品、タブレット	○			○	・油絵について教科書の内容を理解し、基本的な方法論の知識がある。さらに意図に応じた表現の工夫ができる。 ・油絵の表現のポイントを理解し、考察したり表現することができる。また造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 ・意図に応じて工夫したり表したりする表現の学習活動に自ら取り組もうとしている。また作者の心情や表現の意図と工夫について考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞活動に取り組もうとしている。	○	○	○	28
3学期	D 絵画【フォトリアリズム】 【知識及び技能】素描の基礎的な表現方法や用具の特性、基本的な描き方などについて理解する。用具の生かし方などを身につけ、意図に応じて工夫して表す。 【思考力、判断力、表現力等】素描の表現のポイントを押さえ、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する。造形的な良さや美しさを感じ取り、表現方法の工夫などについて考えるなど、見方や感じ方を広げる。 【学びに向かう力、人間性等】美術の創造活動の喜びを味わい、自	・指導事項：素描の技術やポイントを理解し、集中や意欲の持続を促し、完成を目指す。鉛筆表現の技術の習得する。 ・教材：教科書、参考作品、タブレット	○			○	・素描について基本的な技術的内容を理解し、方法論の知識がある。さらに意図に応じた表現の工夫ができる。 ・素描の表現のポイントを理解し、考察したり表現することができる。また造形的な良さや美しさを感じ取り、対象の人物の心情や表現の意図と工夫について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 ・鉛筆表現のポイントを理解し、意図に応じて工夫したり表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。また対象の人物の心情や表現の意図と工夫について考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10 合計 70